

平高新聞

第6号

発行：長崎県立平戸高等学校教務部

平成24年9月30日

校長室から



5月号のイトラッキョウに続き、今月はハマボウの話です。

ハイビスカスハマボウという学名を持つこの花は、海岸の湿地に育つアオイ科の落葉低木です。護岸工事等で

自生地が年々減少し、県によっては絶滅危惧種に指定されています。

この花との出会いも5年前のことでした。平戸への帰路、佐々川で珍しい花を見つけました。学校（猶興館）に戻って生物の邑上先生にお話しし、ハマボウという花を知りました。先生の本には西海町と佐々町の花が紹介されています。その後毎夏、近くを通る度に咲いていないかさがしたのですが、一度、西海町で見たきりで、私にとっては幻の花でした。

それが、なんと7月16日の朝、川内湾のカーブに差し掛かったところ（中野中への別れ道）に何やら黄色い花が見えるではありませんか！しかも何本も！実に感動的でした。「平戸にもあるじゃない」。また、20日の朝、車でアパートから裏道を下っているとマルセイさんの裏、中川に架かる馬込橋のたもとにも2株程発見しました。「な～んだ、こんな近くにもあったんだ」。それだけではありません。23日、堤の善果園さんへ「平戸夏香」を買いに行つての帰り道、西浜の淀姫神社への参道脇にも1株、可愛く涼しげに咲いていました。

7月20日の長崎新聞には、佐世保市の鹿子前園地で植樹されたハマボウが次々に開花していると写真入りで紹介されていました。（26日には川棚も）

イトラッキョウと同様ハマボウも平戸の人たちの間では認知度はかなり低いようです。「ひらど遊学ねっ」との邑上先生によると、川内の浜には400株程が自生しているとか。他県ではこの花を観光資源として活用している市もあります。川内のみなさん、あの辺りを「ハマボウの咲く浜」とでも命名し、自然を損なわない程度に整えてみられてはいかがでしょうか。

「かまぼこ」「鄭成功」に次ぐ川内の名物になれるのではないのでしょうか。



津吉の古田川に咲くハマボウ

着任のお知らせ



8月22日、副田恵太先生が非常勤講師として着任しました。情報・商業の授業を担当します。

10月の主な行事予定

- 10月 3～5日 2学期中間考査
- 10月 9日 開校記念日
- 10月19日 ジョブガイダンス
- 10月27日 第38回文化祭
- 10月19日 県一斉模試（3年）

第38回 体育祭 9月2日（日）

Over the Limit

—目を覚ませ！無限大の可能性—

乞う ご期待！！

一学期の出席率 **99.6%**

オープンスクール

8月3日（金）午後からオープンスクールが行われました。今年度は、平戸市内の中学校6校から、生徒73名の参加がありました。緊張した面持ちで大講義室に集まった中学生は、生徒会を中心とした在校生がクイズを取り入れた学校説明を行いました。クイズでは、突然、指名された中学生は驚いていたようですが、周囲には笑顔がこぼれ、緊張した空気が和みました。

学校説明の後、3つの班に分かれ、本校卒業生の体験談を聞いたり、情報と福祉の授業を体験。ちょっぴり早い高校生活を楽しんでいました。また、在校生に案内されて部活動も見学し、先輩達の活動の様子に見入っていました。



福祉・車イス体験



情報・暑中見舞い作り



部活動見学

平和学習

平和学習が、8月9日（木）に行われました。昭和20年、長崎に原爆が投下されたこの日を、本校でも毎年、登校日として平和学習を行っています。

教室で吉永小百合さん朗読のCDを聴いた後、体育館に移動し、全校生徒で「平戸高校 平和宣言」を読み上げました。

投下の11時2分には全校生徒が黙祷を捧げました。

戦争の悲惨さや恐ろしさを実際には知らなくても、伝え続けていくことの大切さを痛感することができました。



体育祭前除草作業

8月25日（土）体育祭に向けて、グラウンドの除草作業を行いました。PTAの方々のお陰で、広い構内に生い茂った草も取り除くことができました。ご協力ありがとうございました。

